

# 住みなれた地域で 安心して暮らし続けるために

～わたしたちの『まるごとネットワーク』づくりをめざして～

【問い合わせ】 医療福祉政策課 ☎ 26-3940 FAX 22-9673 ✉ iryoufukushi@city.iga.lg.jp

★身近でこんなことはありませんか

- ごみの日に集積場まで持っていくのが大変。
- 蛍光灯が切れてしまっただけで、自分では交換できない。
- 最近空き家が増えてきていて不安。
- 近所に暮らしている一人暮らしのお年寄りが心配。
- 日中1人で家にいるのは退屈。誰かと話したり、ふれあえる場所が欲しい。
- 近くに買い物をする場所がない。遠くまで行かないといけない。



その人の困りごと、ほんとうにその人だけでしょうか？



地域では同じ困りごとを抱えている人が他にもいるかもしれません。



★地域の生活課題を地域で支えるために

- 地域全体で支えあうために地域福祉ネットワーク会議の設置に努めています。

## ○地域福祉ネットワーク会議

伊賀市では、公的な制度では対応できない日常生活の上のさまざまな困りごとや、地域の生活課題を把握・共有し、解決に向けた検討を行う場となる「地域福祉ネットワーク会議」の設置を住民自治協議会単位で進めています。2019(平成31)年1月現在、39の住民自治協議会エリアのうち、33のエリアで設置されています。

地域住民

地域課題

地域のニーズ

解決に向けた  
支援・検討

## 地域福祉ネットワーク会議

地域の生活課題やニーズを把握・共有し、地域全体で支えあうための協議の場

## ●主な構成員

住民自治協議会、自治会、地域企業、民生委員・児童委員、福祉サービス事業所、地区市民センター、ボランティア団体、社会福祉協議会などの関係者です。

## ●地域福祉コーディネーターが支援します

伊賀市社会福祉協議会内に13人配置している地域福祉コーディネーターが、それぞれの地域の実情に応じた地域福祉ネットワーク会議の設置に向けた支援に取り組んでいます。また、設置された地域福祉ネットワーク会議での、地域住民主体の運営に対する支援を行います。

そして、地域で聴き取りやアンケート調査などを行い、地域の生活課題の把握に努めるとともに、課題解決に向けた支援も行っています。

## ●地域でのさまざまな取り組み

地域福祉ネットワーク会議での取り組みにより、買い物支援バスの運行が開始されたり、サロンやワンコインカフェといった地域の皆さんが気軽に集える居場所ができたり、ちよつとした日常生活支援を行う組織が地域内にできたりなど、地域の困りごとを地域で支えあう体制が築かれました。



## ●安心して暮らしつつづけるために

大切なことは、一人ひとりの困りごとをその人だけのことにするのではなく、自分の困りごとになるかもしれないという意識を持ち、地域の困りごととして解決していくことです。

皆さんも住みなれた地域で暮らし続けるために困っていることを考えてみましょう。

## ★お困りごとがあればご相談ください

市では、地域の生活課題を地域で支える取り組みと並行して、保健・医療・福祉分野の関係機関が連携して地域を支援する取り組みも行っていきます。その中で、地域と関係機関を結ぶパイプ機能として、福祉総合相談体制の強化に取り組んでいます。

地域包括支援センターを窓口とした「分野を問わない福祉の総合相談」を受け付けており、専門職（社会福祉士・保健師・主任ケアマネジャーなど）が連携してチーム体制で市民の皆さんの相談に対応しています。

地域包括支援センター東部サテライト  
(東部にんにんサポート伊賀)  
☎45-1016 FAX 45-1055

地域包括支援センター中部  
(中部にんにんサポート伊賀)  
☎26-1521 FAX 24-7511

いがまち  
本庁舎 1階 保健福祉センター

青山保健センター

地域包括支援センター南部サテライト  
(南部にんにんサポート伊賀)  
☎52-2715 FAX 52-2281

お困りごとがあれば  
お気軽に  
お電話ください